新冠小６年生が車いす体験
移動の難しさを学ぶ



10月5日と7日、新冠小学校6年生が授業の一環として、町社会福祉協議会と町保健福祉課の協力を得て、車いす体験を行いました。

児童たちは車いすの操作方法を学んだ後、実際に車いすに乗り、段差や坂道、砂利道などを通りました。歩道の緩やかな傾斜でも前輪の向きが変わり、思うように進めない場面もあり、車いすでの移動の難しさを実感しました。

静内高校３年生が育児を学ぶ
赤ちゃんとの触れ合いを体験



10月7日、静内高校3年生の授業で、育児について学ぶ特別授業が行われました。授業には、新冠町と新ひだか町在住の保護者12人と赤ちゃんを中心に3歳までの子ども10人が参加しました。

生徒は保護者に、妊娠中に気を付けていたことや子育てについて質問し、実際の経験を聞きました。また、赤ちゃんを抱っこしたり、あやしたりしながら触れ合いました。

新冠中学校３年生が
役場で地方自治を学ぶ



10月27日、新冠中学校3年生が社会科「地方自治と私」の授業の一環で町役場を訪れました。

役場の会議室では、山本町長から地方自治の基本や国と地方の役割のほか、町長と町議会議員を住民がそれぞれ選ぶ二元代表制について説明を受けました。また、人口減少や財政など町が抱える課題と、その解決に向けた取り組みについても話を聞きました。

続いて、議場では氏家議長から議員の仕事や議会の役割について説明を受けました。

役場での学習を踏まえ、生徒たちは学校に戻り、町の現状や課題を整理し、町の特色を生かしながら、課題解決に向けた条例案を考えました。

駐日パキスタン大使を招き交流
日高管内から約80人が参加



10月8日、太陽の森ディマシオ美術館で、日高パキスタン経済人材交流会主催の交流行事が開催されました。行事には、日高管内の町長らを含む約80人が参加しました。

同交流会は、日高管内の経済人らがパキスタンとの友好親善と経済交流を目的に開催されました。当日は、ハミード駐日パキスタン大使が出席し、日本とパキスタンの関係について話しました。

小学生が酪農の仕事を体験
子牛へのミルクやりや乳搾り



10月31日、町教育委員会主催の酪農体験教室が字明和のシミズデイリーファームで開催され、小学生19人が参加しました。

児童たちは初めに清水秀人さんから牛の生態説明を受けた後、子牛にミルクを与える体験では、哺乳瓶を引っ張る子牛の力強さに驚いていました。また、乳搾りのほか、牧草ロールをほぐして牛に与える作業にも取り組みました。

まちの話題 あれこれ

後世に語り継ぐ
「戦争の実態」講演会開催



10月28日、レ・コード館シアターにおいて、北海道新聞静内支局長酒井聡平氏を講師に「後世に語り継ぐ～戦争の実態」講演会が行われました。

いきいき大学の活動と郷土資料館ふるさと再発見講座の合同開催として行われ、一般の方も含む55名の方が参加しました。

講演は、硫黄島の凄惨な戦いと大誠丸事件を取り上げ、戦争の不幸を後世へ語り継ぐことの大切さが伝わる講演会でした。講演後は、参加者から戦争体験が語られるなど、戦争の実態が伝わる講演でした。



アイヌ文化体験でトンボ玉制作
延べ 36 人が参加

10 月 30 日から 3 日間、郷土資料館主催のアイヌ文化体験「トンボ玉制作」がポロシリ生活館で行われ、延べ 36 人が参加しました。

トンボ玉はガラス玉のことで、参加者は熱による色合いの変化や、きれいな形に整える難しさを感じながら、ガラス棒をバーナーで溶かしてトンボ玉を作りました。



乗馬クラブにヤエヤマザクラ
日高信用金庫が若木を寄贈

10 月 30 日、日高信用金庫が、にいかっぷホロシリ乗馬クラブの敷地にヤエヤマザクラの若木 1 本を寄贈しました。

同金庫の扇谷芳憲静内支店長は、「町が必要と考えている物を地域貢献活動として継続して寄贈し、町の活性化に貢献したい」と話しました。



新冠中学校１年生が
地域の大人から仕事を学ぶ

10 月 28 日、新冠中学校で 1 年生を対象に、日高中部通年雇用促進協議会主催の「オシゴトーク」が開催されました。

地域の大人 22 人が講師を務め、仕事を選んだ理由ややりがい、大変さなどを伝えました。生徒たちはお話しから、地元で働くことや将来の仕事について考えました。



さまざまな職場で仕事を体験
新冠中２年生が職場訪問

10 月 27 日、新冠中学校の 2 年生が町内外 16 カ所の施設・事業所で職場体験を行いました。

生徒たちは、小学校や消防署などの公共施設のほか、レストラン、温泉施設、小売店などを訪れ、接客や商品の値札貼りなど、それぞれの職場で普段行っている仕事に取り組みました。



新冠小学校で学習発表会
劇や音楽、全校合唱を披露

10 月 23 日、新冠小学校で学習発表会が行われました。今年は「練習の成果を発揮して、最後までやり切ろう。」をスローガンに掲げ、練習を重ねてきました。

当日は、１年生の元気いっぱいの表現で幕を開け、２・４・６年生は劇、３・５年生は音楽を発表しました。



イータ君と一緒に
こども園で楽しく交流

10 月 20 日、認定こども園ド・レ・ミで、浦河税務署と浦河地方青色申告会連合会による交流イベントが行われました。

園児たちは、税務署のキャラクター・イータ君と一緒にリズム遊びを楽しみました。また、税に関する塗り絵を受け取り、イータ君と記念撮影をしました。